

**司法書士試験 筆記試験**  
記述式問題の配点変更に伴う  
答練・模試の配点変更について

令和5年12月4日に司法書士試験 筆記試験 記述式問題の配点変更が発表され、令和6年度の司法書士試験より、筆記試験午後の部の記述式問題の配点が、「2問で70点満点」から「2問で140点満点」に変更されることになりました。これにより、総得点のうち記述式問題の配点の占める割合が多くなることから、今後の司法書士試験の合格のためには、これまで以上に記述式問題の対策が重要となることでしょう。

LECでは、受講生の皆様に『より本試験に近い問題演習』をご提供するため、答練・模試の記述式問題の配点を「2問で140点満点」に変更します。140点満点に変更されたLECの記述式問題で合格戦略を立て、新司法書士試験の合格を勝ち取ってください。

**【2024年合格目標 答練・模試 記述式配点変更一覧表】**

答練・模試	開講月	70点満点	140点満点
精撰答練【頻出論点記述編】	2023年10月～	○	
実力診断模試	12月～	○	
精撰答練【実力養成編】	2024年1月～	○	
到達度確認模試	3月～		○
精撰答練【ファイナル編】	4月～		○
全国公開模擬試験	5月～		○
全国スーパー公開模擬試験	6月～		○

